

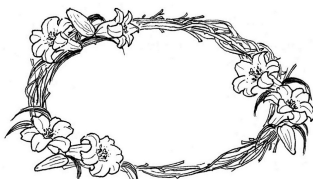
本日の礼拝を中止します。
各自、ご自宅で礼拝をお守り下さい。

この週報プログラムによって皆で心を合わせましょう！

主 日 礼 拝

2020 年 4 月 26 日
復活後第 3 主日

黙 禱		
招きの言葉	詩編 118 編 23~24	
主の祈り	讃美歌 93-5A	*一同
交 読	交読詩編 145 編 1~9	
讃 美	327 番「すべての民よ、よろこべ」	*一同
聖書朗読	ヨハネによる福音書 21 章 1~14 節 (新約 211 頁)	
祈 禱		各自
使徒信条	讃美歌 93-4A	
説 教	『再チャレンジ』	柳下明子牧師
右側にある説教要旨をお読み下さい。		
讃 美	332 番 「恐れを捨て去り」	*一同
頌 栄	28 番 「み栄えあれや」	*一同
黙 禱		



【本日の説教要旨】

「再チャレンジ」 柳下明子牧師

人は簡単には不安や失望の中から立ち直すことはできません。人は簡単には赦しや再生を信じ切ることはできません。けれども聖書はそういう人間をそのまま、なんどでも生きることを受け取り直す機会を与えてくれます。イースターを過ぎた私達へのメッセージは、もう一度、復活のイエスに出会い直そう、ということです。

イエスの弟子として生き、そして既に復活のイエスに会ったシモン・ペトロやその他の人びとは、ここではガリラヤの湖の湖畔で時を過ごしています。「わたしは漁に行く」というペトロは、イエスに出会う前の生き方に戻ろうとしています。それはイエスから離れ、また復活のイエスによって与えられたはずの希望にも生き切れていない姿であるのです。

「漁に行く」のはイエスに委託されている宣教の業、弟子として生きることからの逃避です。そしてこの漁は成功することはなく、失敗に終わります。

次の朝、イエスが湖岸に立って指示をすると、驚くべき量の魚が網にかかり予想を上回る大漁になります。イエスと共にいるのでなければ、ペトロの働きが意味あるものになることはないのだと、聖書は教えます。赦されるということを経験することなく、希望に心を閉ざして営む働きが何かに結実することはないのです。

漁に行くことは、ここでようやく復活のイエスに背を向けて、かつての生き方に戻ることではなくなります。漁に行くことは、実りを得ること、予想外の収穫を得ることとして認識されるのです。

弟子たちにとって、それはようやく復活のイエスによって与えられる希望を生きる経験となりました。「わたしは漁に行く」ペトロが、これよりのち赴くのは、いわゆる「人間をとる漁師」の働きとなります。

復活のイエスは人が立ち直り、信じることができるまで何度でも訪れ出会ってくださるのです。

【お知らせ／報告】

* 4 月 8 日 (水) に発出された「緊急事態宣言による外出自粛要請」を受け、本日、**26 日 (日)**、**5 月 3 日 (日)** の教会での朝、夕礼拝も引き続き中止いたします。ご自宅で礼拝をお守りください。

* 礼拝中止中の週報はひばりが丘教会ホームページでご覧になれます。(アドレスは週報の表面に) ホームページがご覧になれない方には、郵送しております。今後、週報郵送をご希望の方、週報郵送がご不要な方は書記(横手か能登)へご連絡ください。

* オンライン礼拝

・ 4/19(日)10:30 竹田伸一牧師が主導下さり、インターネット配信による礼拝を試験的に行ない、20 数名が各家庭で礼拝に参加しました。

・ 4/26(日)10:30 オンライン礼拝を行います。説教:柳下明子牧師、司式:渡部寛、奏楽:田鎖夕衣子 参加方法は渡部寛さんにお尋ね下さい。

* 5 月 9 日(土)までの平日の諸集会は中止です。

主日祈り会、早朝祈り会、木曜日祈祷会讃美間の会

* 第 58 回第 2 次教会総会は延期します。

* 4 月 29 日(水)の予定のメディカルカフェ講演会は中止となりました。

* 5 月 10 日(日)以降については状況を見て、改めて検討し、教会ホームページや緊急連絡網でお知らせします。

教会学校

4 月中、5/3(日)はお休みします。

それ以降については改めてお知らせします。

「月報5月号」と「5月スケジュール表」の発行を見合わせますので、ご承知下さい。

(月報4月号の巻頭言用に書いて頂いたものです。)

「ポンテオ・ピラト」 ヨハネ福音書18章33～38節
主イエスが十字架刑に磔けられる日の夜明け。エルサレム神殿のローマ総督官邸。ユダヤの大祭中は、ユダヤ人の蜂起など起きぬよう、総督ピラトはこの別邸に滞在していました。ユダヤの宗教指導者たちは、主イエス殺戮の責任をローマ人に負わすべく、主イエスを引き渡しました。

ピラトと主イエスの対話：

P：お前がユダヤ人の王なのか？

J：あなたはそう思いますか？

P：何をしたのか？

J：わたしの国は、この世の国とは違うのです。

P：国？ やはり王なのか？

J：王、と言いましたね。そう、わたしは、真理を

証しするために世に来たのです。

P：真理？

話を早く済ませたかったピラトが、主イエスとの問答に引き込まれ、救いと関わる核心の問いを發しました。しかし・・・残念。貴重なその問いは、彼が身を返して世と対峙するや、圧倒されるほどの世の恐れに吞まれ、流れ去りました。

ローマ総督ピラトとは；

- ・世界を治める唯一神を知らない異邦人(非ユダヤ人)。
- ・世の力で身を守っています。その名ピラトとは「槍で武装した人」の意。
- ・望まぬピラトに、イエスの方から近づかれました。いかがでしょう？

キリスト者も流されますが、繰り返しすくい戻され、柵に保護されております。

世界中で、毎週、「ポンテオ・ピラトのもとに苦しみをうけ・・・」と使徒信条が唱えられます、「十字架の責任者！」みたいに。でもピラトとは、わたしです。

(3/22 夕拝説教より 高梨愛子)

次週(5/3)礼拝 予告

朝、夕の教会での礼拝は中止しますが、週報を教会ホームページで配信、あるいは郵送しますので、各自、ご家庭で礼拝をお守り下さい。

説教 「それぞれの道」
聖書 ヨハネ 21章15～25節
招詞 エフェソ5章14節
交読 交読詩編 118編1～13
讃美 329、330、28

【教会消息】

*『長生教会 創立70年記念誌』が届いています。「皆さま いつもカードをありがとうございます。昔の神学生中西碧の近況です。お元気で」とのメッセージが添えられていました。

*<西東京教区婦人全体集会 開催中止のお知らせ>
5月22日に予定しておりました、2020年度第1回婦人全体集会につきまして新型コロナウイルスの感染が拡大している現状を受けまして、開催を中止させていただくことになりました。」

****今週の聖書通読日課 ****

27(月)	エゼキエル	18～19	章
28(火)	エゼキエル	20～21	章
29(水)	エゼキエル	22～23	章
30(木)	エゼキエル	24～25	章
5月 1(金)	エゼキエル	26～28	章
2(土)	エゼキエル	29～31	章
3(日)	エゼキエル	32	章

先週は礼拝、諸集会が中止のため、報告はありません。

日本キリスト教団
ひばりが丘教会

週報

2020年4月26日

No. 2875

***** 定期集会 *****

主日礼拝 日曜日 10:30～11:45
夕拝 日曜日 19:00～20:00
教会学校 日曜日 9:00～10:00
祈禱会 木曜日 19:30

その他 週報「集会案内」をご覧ください



牧師：柳下明子

188-0001 西東京市谷戸町3-3-5

☎042-422-3732 FAX 042-425-4758

メール:hibarigaoka-kyoukai@k9.dion.ne.jp

HP:https://hibari-hills2017.jimdo.com/

郵便振替口座番号 00160-7-193668

